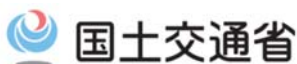


# CommonMPのインストール方法

国土技術政策総合研究所  
河川研究部水循環研究室



Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism



国土技術政策総合研究所

1

## CommonMPのインストール方法

この教材で習得できること

1. CommonMPウェブサイトからCommonMPをダウンロードし、パソコンにインストールできるようになる。

必要に応じて参照してください。

<https://www.youtube.com/watch?v=o-pXYKPhQIE&t=5s>

この教材では、一例として、64bit版のGIS付きのCommonMP (Ver1.6.0) のインストール方法を説明する。（お使いのシステムに合わせ64bit版(x64) か、32bit版(x86)か選択してください。）

【お使いのシステムが64bit版か、32bit版かの確認方法】  
(Windows10の場合)

- 左下スタートメニューの「設定（歯車アイコン）」をクリック
- 「システム」をクリック
- 「バージョン情報」をクリック
- 「システムの種類」を確認

64ビットオペレーティングシステム→x64

32ビットオペレーティングシステム→x86

2

## CommonMPのインストール方法

1. CommonMPウェブサイトのプラットフォームダウンロードのページを開く  
<http://framework.nilim.go.jp/platform/download/>
2. 「CommonMP+GIS Ver1.6.0(x64)」をクリックする。なお、Ver1.6.1は、Ver1.6.0をインストール済みの方対象のファイルであり、研修では使用しない。
3. 「ユーザ登録の確認」のページに変わるので、メールアドレスを入力し、「送信」をクリックする。  
(ユーザ登録がまだの場合は、ユーザ登録のページでユーザ登録を行う。)  
<https://framework.nilim.go.jp/platform/usr-regist.html>  
  
ブラウザの種類によっては「接続は完全には保護されていません」等の表示が出る場合があります。その場合は、ブラウザの画面上で「詳細設定→framework.nilim.go.jp にアクセスする(安全ではありません)」等の操作をお願いします。  
(これは、「https://」で始まるURLへのアクセスで利用される暗号化プロトコルの更新過渡期によるものです。)
4. 規約同意の画面 <https://framework.nilim.go.jp/platform/download/license-gis.html>にページが変わるので、「CommonMPソフトウェアライセンス規約」を読み、規約に同意する場合は、「同意する」にチェックを入れ、「ダウンロード」をクリックする。

3

## CommonMPのインストール方法

5. パソコン(通常は「ダウンロード」フォルダ)に、「commonmp\_ver1.6.0+GISx64.lzh」がダウンロードされるので、これをダブルクリックすると、(通常はデスクトップに)「commonmp\_ver1.6.0+GISx64」フォルダが出現し、この中に、「Doc」フォルダと「Help」フォルダと「Platform」フォルダと「license.txt」が入っている。  
  
「Doc」フォルダには、インストール手順書等が入っているので、これらを読みながらインストールを行うと良い。  
「Platform」フォルダには、「CommonMPPackage.exe」が入っている。これをダブルクリックすると、「CommonMPPackage」フォルダが出現する。「CommonMPPackage」フォルダをダブルクリックすると、「CommonMP.exe」と、「CommonMPSetProc.exe」と「Interop.IWshRuntimeLibrary.dll」が入っている。インストールには「CommonMP.exe」を使用する。
6. パソコンに、インストールするためのフォルダを作る。この教材では、一例として、パソコンのCドライブの下に、「CMP」フォルダを作り、その中に、「commonmp\_ver1.6.0+GISx64」フォルダを作ることとする。
7. 5. の「CommonMP.exe」を「commonmp\_ver1.6.0+GISx64」フォルダにコピーペーストして、「CommonMP.exe」をダブルクリックすると、インストールが開始される。

PC > ローカルディスク (C:) > CMP

名前

commonmp\_ver1.6.0+GISx64

<< CMP > commonmp\_ver1.6.0+GISx64

名前

CommonMP.exe

ダブルクリックするとインストールが開始される。

4

## CommonMPのインストール方法

6. 30~40分でインストールが終了する。「C:\¥CMP¥commonmp\_ver1.6.0+GISx64」には、「CommonMP」フォルダ、「CommonMP-GIS」フォルダ、「data」フォルダ、「CommonMP.exe」が入っている。「CommonMP.exe」はもう不要なので削除する。マニュアル類が入っている5. の「Doc」フォルダをコピーペーストしておくとの便利。

<< CMP > commonmp\_ver1.6.0+GISx64

名前

CommonMP  
CommonMP-GIS  
data  
CommonMP.exe

もう不要なので削除する。

<< CMP > commonmp\_ver1.6.0+GISx64

名前

CommonMP  
CommonMP-GIS  
data  
Doc

コピーペーストしておくとの便利。

5

## CommonMPのインストール方法

7. インストールしたCommonMPの電子ファイルを確認する。  
CommonMPの実行ファイルは「CommonMPMain.exe」である。この電子ファイルは、「C:\¥CMP¥commonmp\_ver1.6.0+GISx64¥CommonMP¥Execute¥bin」に入っている。これをダブルクリックするとCommonMPが起動する。CommonMPを起動するために毎回このフォルダまでたどり着くのは面倒なので、ショートカットを作成し、デスクトップにコピーペーストしておくとの便利である。

CommonMPのマニュアルは、「ヘルプ」→「CommonMPヘルプ」でも確認できる。

> PC > ローカルディスク(C:) > CMP > commonmp\_ver1.6.0+GISx64 > CommonMP > Execute > bin

名前

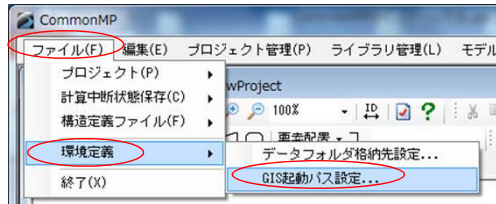
en  
FortranModelDll  
ja  
JPRiver  
ORG\_DLL  
64bit.txt  
cmpPjgCnvV1.exe  
CommonControlLibrary.dll  
CommonMPMain.exe  
CommonMPStart.bat



6

## CommonMPのインストール方法

8. CommonMP-GISを起動するための下準備を行う。CommonMP-GISの実行ファイルは、「DioVISTA.exe」である。これは、「C:¥CMP¥commonmp\_ver1.6.0+GISx64¥CommonMP-GIS」に入っている。CommonMPを起動して、「ファイル」→「環境定義」→「GIS起動パス設定」をクリックする。次の画面で、「C:¥CMP¥commonmp\_ver1.6.0+GISx64¥CommonMP-GIS¥DioVISTA.exe」を指定すれば、設定完了である。



7

## CommonMPのインストール方法

9. CommonMP-GISを起動するためには、CommonMP-GISライセンスが必要である。CommonMPウェブサイトの、CommonMP-GISライセンスファイル発行のページを開く。

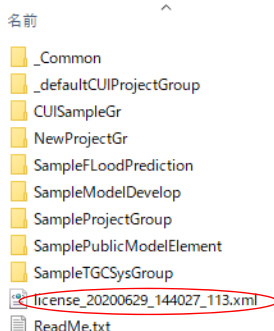
<https://framework.nilim.go.jp/platform/gis-license.html>

メールアドレスを入力し、「送信」をクリックすると、CommonMP-GISライセンスファイル発行のページが変わるので、規約に同意する場合は「CommonMPソフトウェアライセンス規約」に同意する。」にチェックを入れて、MACアドレスを入力し、「発行」をクリックする。

「[info@framework.nilim.go.jp](mailto:info@framework.nilim.go.jp)」から、入力したアドレス宛に、メールが送付されてくる。lzhのファイルが添付されているので、これを保存してダブルクリックすると、「assets」フォルダが出てくる。最後までダブルクリックすると、xmlファイルが入っており、これが、CommonMP-GISライセンスファイルである。これをダブルクリックすると、開始日、有効期限、物理アドレスが記載されている。

このxmlファイルをCommonMPをインストールしたフォルダにコピーペーストする。この教材では、「C:¥CMP¥commonmp\_ver1.6.0+GISx64¥CommonMP¥CommonMPData」に保存した。

PC > ローカルディスク (C:) > CMP > commonmp\_ver1.6.0+GISx64 > CommonMP > CommonMPData

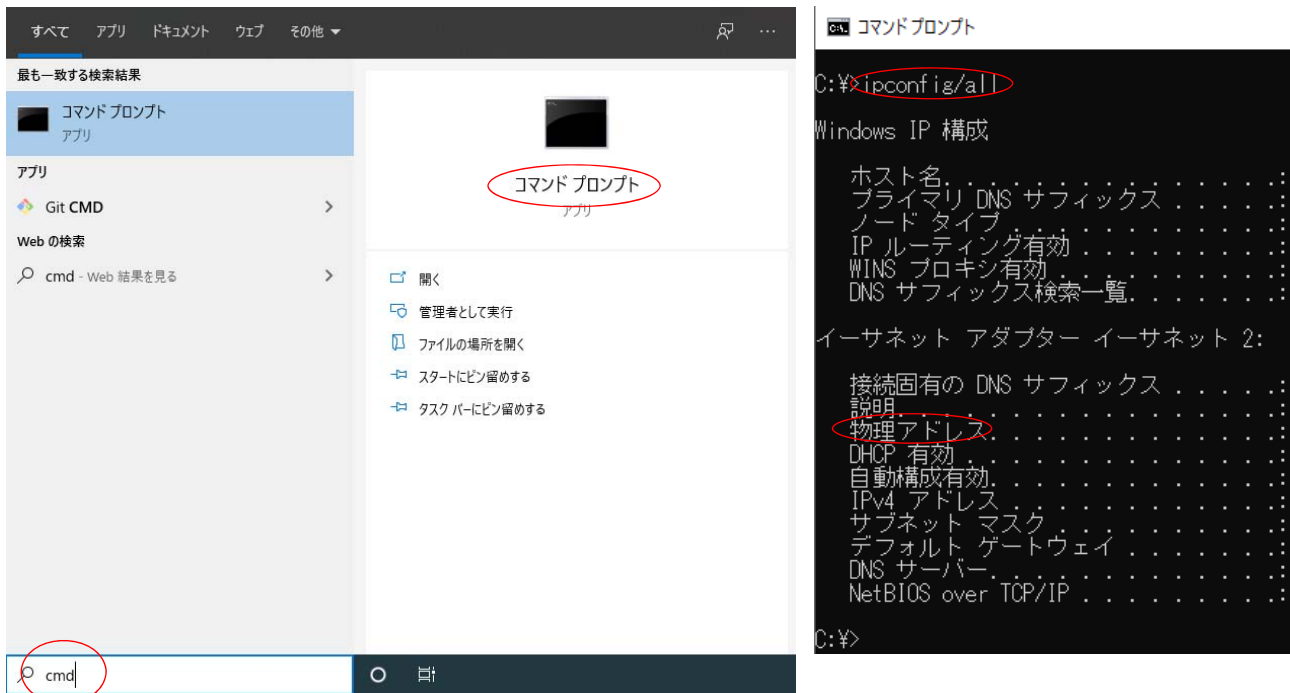


8

## CommonMPのインストール方法

10. MACアドレスの確認方法については、<http://framework.nilim.go.jp/platform/gis-license/mac-address.html>で確認できる。

検索窓からcmdを検索、コマンドプロンプトを起動し、ipconfig/allと入力してEnterを押すと、物理アドレスが表示される。

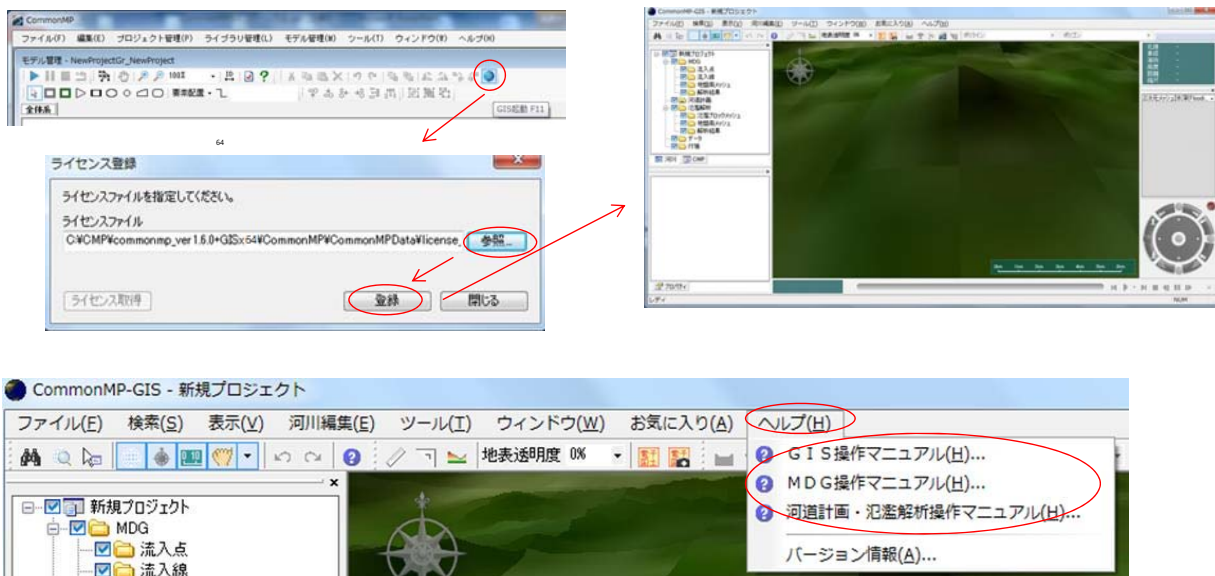


9

## CommonMPのインストール方法

11. 下準備が終わったら、CommonMP-GISを起動してみる。CommonMPを一旦終了し、起動する。地球のマークをクリックするとCommonMP-GISが起動するので、「データフォルダ設定」画面が出現するので、「C:\%CMP%\commonmp\_ver1.6.0+GISx64\data」フォルダを設定する。また、「ライセンス登録」画面が出現するので、保存したxmlファイルを指定して、「登録」をクリックすると、CommonMP-GISが起動する。

CommonMP-GISの各種マニュアルは、「ヘルプ」をクリックすると、閲覧できる。



10